

Press Release

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰を踏まえた 新たな支援策について

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化や昨今の物価高騰の影響を踏まえ、子育て世帯、生活困窮者、中小企業者等を支援するため、以下の新たな事業（予算規模約5.2億円：全額国費活用）を実施します。

なお、新たな予算措置を伴う事業は、6月市議会定例会に補正予算案を提出します。

1 新たな予算措置を伴う事業

（1）生活者支援

● 給食費の据え置き【新規】

<概要> 食材価格が高騰する中、給食の質の確保と子育て世帯の負担軽減を行うため、給食費は据え置きとし、公費負担を実施

<予算> 28億2,685万円（既決予算27億6,280万円に、6,405万円上乘せ）
（担当課：保健給食課 加藤 世明（内線）2-7530（直通）0565-34-6663）

● 生活困窮者仕事と住まいの一体支援費補助金【新規】

<概要> 就労と住居が不安定な状態にある生活困窮者を新たに雇用し、あわせて住居を提供する事業者に対して、入居に要する費用等の一部を補助（上限30万円）

<予算> 1,500万円（既決予算なし）
（担当課：福祉総合相談課 大内 紀哉（内線）2-3540（直通）0565-34-6791）

（2）事業者支援

● カーボンニュートラル創エネ促進補助金【拡充】

<概要> 再生可能エネルギー発電設備等を導入する製造業者への補助金の予算額を増額

<予算> 8億円（既決予算5億円に、3億円上乘せ）
（担当課：産業労働課 川合 晃司（内線）2-4010（直通）0565-34-6641）

● 信用保証料緊急経済対策補助金【延長】

<概要> 中小企業者等の支援のため、関連融資の信用保証料に対して全額補助（上限100万円）する期間を令和5年3月31日（予定）まで延長

<予算> 1億8,100万円（既決予算3,600万円に、1億4,500万円上乘せ）
（担当課：商業観光課 成瀬 剛史（内線）2-4030（直通）0565-34-6642）

2 そのほかの関連事業

物価高騰等の影響が広がる状況の中、資源の有効活用、困窮者支援、脱炭素の推進など、改めてSDGsの視点をもって以下の事業を実施します。(既決予算で対応)

- フードドライブの実施

<概要> 家庭、企業、スーパー等で消費されない食品を集めて、生活困窮者、子ども食堂、学生等へ配布

(担当課：循環型社会推進課 畑田 吉彦(直通) 0565-71-3001)

- 省エネを促進する「家庭の電力使用量見える化キャンペーン」の実施

<概要> 家庭の節電や省エネ行動の促進に向け、電力事業者と連携した「電気使用量の見える化」、「省エネ行動に対するとよたSDGsポイントの進呈」を実施

(担当課：環境政策課 塩谷 誠(内線) 3-3010(直通) 0565-34-6650)

- カーボンニュートラル相談窓口の設置

<概要> 中小企業者等のカーボンニュートラルへの取組を支援するため、CO2排出量の算定やCO2削減の実施手法などを専門家が助言する相談窓口を設置

(担当課：次世代産業課 福岡 員祥(直通) 0565-47-1251)

3 今後の対応

今後は、国・県が行う事業の詳細確認、物価動向、市民及び事業者への影響度等を見極めて、必要な対応を図ります。

以上(添付資料：有 写真データ：無)

小・中学校、こども園の 給食費保護者負担を据え置き

豊田市は、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響を踏まえ、子育て世帯への支援の観点から、令和4年度の給食費保護者負担を据え置きます。なお、給食の栄養バランスや量を引き続き確保するため、物価高騰による食材料費上昇分は公費負担とします。

- 対象

豊田市が提供する市内小・中学校（豊田特別支援学校含む）、及びこども園・幼稚園（私立含む）の全給食

- 据え置き期間

令和5年3月分の給食まで

- 予算

28億2,685万円（既決予算27億6,280万円に、6,405万円上乘せ）

<参考> 給食費1食あたりの保護者負担額

小学校 250円、中学校 280円、こども園 210円

※要保護、準要保護世帯等は無償

生活困窮者仕事と住まいの一体支援費補助金を新設

生活困窮者を新たに雇用し、住居を提供する事業者を支援

豊田市は、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響により、就労及び住居が不安定な状態にある生活困窮者を新たに雇用し、あわせて住居を提供する事業者には、雇入れに要する費用の一部を補助します。

- 対象事業者
 - ・ 豊田市内に本店、支店等を置く事業者であること。
 - ・ 雇用保険の適用事業主であること。

- 申請受付期間
令和4年7月1日（金）から令和5年3月31日（金）まで

- 補助対象経費
新たに雇用した生活困窮者の1か月分の給料、住居を確保するために要した経費（入居する部屋の修繕費や清掃費等）

- 補助金額
対象経費の100%（上限30万円）

- 想定件数
50件

- 予算
1,500万円（既決予算なし）

- その他
申請方法や提出書類等の詳細が決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

カーボンニュートラル創エネ促進補助金の 予算額を増額

豊田市は、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響を踏まえ、さらなる事業者の支援を図るため、「豊田市カーボンニュートラル創エネ促進補助金」について、令和4年度予算額を総額8億円に増額します。

- 補助対象者
市内に事業所を有し、製造業を営む中小企業者等
- 補助対象事業
太陽光など再生可能エネルギー発電設備等を市内事業所に導入する事業
- 補助対象経費
補助対象事業に要する設備費、工事費（建物補強工事費含む）、付帯設備費（充電器、蓄電池等）等
- 補助金額
 - ①補助率 1/2
 - ②上限額 3,000万円（1事業所あたり）※導入設備の規模に応じた上限額等があります。
- 想定件数
110件
- 予算
8億円（既決予算5億円に、3億円上乗せ）

信用保証料緊急経済対策補助金の延長

豊田市は、新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響で売上が減っている中小企業・小規模事業者を支援するため、関連融資の信用保証料を補助する信用保証料緊急経済対策補助金の実施期間を延長します。

- 実施期間
 - ・(延長前) 令和2年3月6日(金)～令和4年3月31日(水)
 - ・(延長後) 令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
 - ※令和4年4月1日からは、既決予算で対応
- 補助率
100%(上限100万円)
- 想定件数
約740件
- 予算
1億8,100万円(既決予算3,600万円に、1億4,500万円上乗せ)

フードドライブの実施 「もったいない」を「ありがとう」に

豊田市は、物価高騰の影響を踏まえ、改めて資源を大切にすることを市民意識を高めるため、「食品ロスの削減」を図る取組として、フードドライブを実施します。

- 実施期間

令和4年6月（環境月間）及び10月（食品ロス削減月間）のそれぞれ1か月間

- 対象

豊田市民、市内企業、スーパー等

- 概要

家庭や事業所などで消費しない（余っている）食品を集めて、社会福祉協議会へ寄付する。社会福祉協議会において、必要とされる方や子ども食堂等へ配布し、生活者の支援につなげる。

- 食品の提供量（目標）

約 1,000 kg

- 予算

なし

- その他

フードドライブで集めた食品については、社会福祉協議会のほか、希望する大学等（学生）へも提供します。

省エネを促進する「家庭の電力使用量見える化キャンペーン」を実施

豊田市は、物価高騰の影響を踏まえ、家庭の節電や省エネ行動の促進をはじめ、家庭のCO2削減にもつなげるため、「家庭の電力使用量見える化キャンペーン」を実施します。

- 実施期間

令和4年7月上旬から9月下旬まで

- 対象

豊田市民

- 概要

電力事業者と連携して、市民に家庭の電気使用量の確認や、節電・省エネ行動を呼びかけ、参加実践した市民へとよたSDGsポイントを進呈

- 参加特典

とよたSDGsポイント 100ポイント（1世帯1回限り）

- 予算

20万円（既決予算）

- その他

キャンペーンや参加方法の詳細が決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

<参考> とよたSDGsポイント

市や地元加盟店等が提示するSDGsにつながる行動を実践すると、取組に応じてポイントが付与される豊田市独自のポイント制度。貯めたポイントは、地元加盟店で1ポイント=1円として利用できます。

カーボンニュートラル専門家相談窓口の設置

豊田市は、物価高騰の影響を踏まえ、中小企業者等の施設におけるエネルギー効率の改善を促すとともに、カーボンニュートラルに向けた取組を支援するため、CO₂排出量の算定や、CO₂を削減する取組などの助言を行う相談窓口を設置します。

- 窓口設置期間
令和4年6月中旬から令和5年3月まで（日、月曜日を除く）
- 対象
市内に事業所を有する中小企業者等
- 概要
カーボンニュートラルに関する相談に対し、専門家が排出量算定や実施手法等の助言を行う。
※相談1回あたり60分、上限3回まで（オンライン相談も可能）
- 場所
ものづくり創造拠点SENTAN（拳母町2-1-1、電話0565-47-1251）
- 予算
300万円（既決予算）
- その他
窓口の設置開始日、申込方法等の詳細が決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。